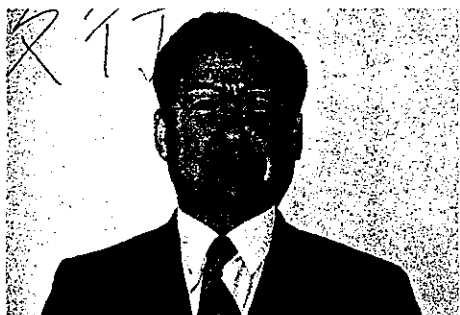


「企業理念」われわれは人類社会向上のベースたる働きをするものである。



てんひこ

発行所 株式会社天産産業 大阪市住之江区南港南5丁目5番26号 Ⅷ(06) 613-2361(代)
編集発行責任者 T.H.グループ (中居 上田勉 武田 大橋浩) 佐藤 宮脇 松本(三) 大橋(千) 橋出)



平成5年キーワード

勇 断 敢 行

年頭に当たって

代表取締役社長

樋口克彦

昨年は四年以上続きました大型景気の結果、過大な設備投資と個人消費の一服感から供給過剰となり、戦後最悪の景気後退局面となりました。

GNPも前年の4・5%から1・8%程度まで急角度で低下しました。我々鉄鋼業界もバブル経済の崩壊で建設・自動車・電機・機械等・需要全般が激しく冷え込み、在庫調整により生産活動が落ち込み

昨年は五年ぶりに粗鋼が九八〇〇万トンと前年比11%減の一億トン割れをおこし、特殊鋼も15%減と普通鋼以上にその幅が大きく、我社もその影響をもろにかぶってしまいました。

さて我社の昨年をふり返ってみますと、非常に不本意な一年であったと言わざるを得ません。昨年のキーワードの

価値の創造と自己革新はお題目に終わってしまったと言わざるを得ないのは非常に残念であります。四年余りの好況とバブルの恩恵が、我社の隠れていた病根を包みこんでいたが、その崩壊と共に様々の症状を表わして来しました。

目標計画未達不感症、やらされ無気力症、決まった事を守らず症、行き当たりバッタリ症、ばれなければ良いで症うっかりミス同病症、等が一気に本体へ影響をしまいにしました。とは言え今なら間に合うと思います。

慢性病になる前にどうしてもしめなければなりません。それには、大きなエネルギーとスピードが必要です。西洋医学の病巣の根源を断ち切る大手術と、東洋医学の自らの体力の増強により病源を治癒する相反する様な難しい方法を取らざるを得ません。その結果全身の血液が酸素という情報や色々の養分をすばやく脳に運び、企業体の全身への

確な指示を発し、又体内にある各臓器や部分がお互いにもたれ合い、負担をかけ合うことから脱皮し、それぞれの役割を健全に果し、相互に機能強化の為に刺激を与え合い、ひ弱な体質を万全のものに作り上げなければなりません。

リストラ二〇も三年目となり、リストラの最初にある「何事にも一人前になる」と、まず自分は一人前であるとの自覚の上に、一・五人分、二人分の仕事を果してやると所定の成果が得られるという難しい時代に、このことは何が何でも成し遂げてもらわなければなりません。

今年は癸酉（みずのとり）であり、癸は計るという意味があり、酉は酒を醸す器が語源と言われ、万物が熟し実る様子から、物事が成るにつながらるといわれています。

これを企業経営に当てはめますと、トップが従業員各層の知恵と力を合わせ、風通しの良い社風を作り、切磋琢磨

の

する事で美味しい酒に立派な業績を上げることが出来るが社内の風通しが悪く特にトップに情報が行かない事や、経営の原理原則を踏み外すと不治の病に落ち入る危険さえ芽ばえて来ます。このことを踏まえ企業理念・経営方針を再確認し、リストラ二〇〇をそれぞれの部門で具体化し、企業文化の熟成に努め、マクロが如何様であっても成長発展を続ける強固な企業体質を作り続けなければなりません。

今年のキーワードは「勇断敢行」とし、勇気を持って使命感を信念に迄昂め、甘えや誘惑を断ち切り、断固として物事を成し遂げる強固な意志を持って与えられた責務をやり遂げて頂きたいと思ひます。非常に厳しい事ばかり申し上げましたが、皆様が真正面から受け止め取組んで頂けるものと確信致しまして新年の挨拶と致します。



年男・年女

今年を語る



営業部 Bグループ

高岡美佐

天彦産業に入社して、三月で丸六年になります。営業アシスタントということで、お客様と電話などで接する機会が多いのですが、よく「落ちついてますね」とか、たまに

「しつかりされてますね」と言われることがあり、「私は一体いくつに見られているのか?」ということを考えることがありました。若いと思っていたのですが、年もキャリアも、女子社員の中で二番目となり、月日の流れは早いということを感じています。今年はより広い範囲での仕事が出来ることが目標として、自分自身の「飛躍の年」となるよう頑張ります。

貿易部

西村元延

一九九三年の今年は、今まで自分から脱皮し、心機一転をはかりたいと思います。具体的には、委員会活動において昨年は、自分に甘えがあり、誰かにたよる気持ちがありました。その点を今年は、自ら積極的に参加し、自分に負荷をかけて自分自身が成長する様にがんばりたいと思います。また業務に関しては、時間・納期厳守ということ念頭に置いてすすめてゆきま

す。例えば書類等の提出物に關しても、きっちり守り、周りにから信頼され、また周りの人に西村にまかせれば間違いないと言われるくらいになりたいと思います。

今年の年末には、みんなが、今年は西村の年だったといってもらえる様な一年にしたいと思ひます。

営業部 Cグループ

松本三枝子

十二月に入ってから「来年は私の年」と思う様になりました。それは年賀状のイラストなどで西(特ににわとり)を目にする機会が増えたためです。にわとりのイメージとして、おちつきがなく、行動範囲を決めている様に思ひます。自分の行動を振り返ってみると、思いあたる部分が沢山あるので、今年は殻をやぶって、もっと行動範囲を広げ、周囲の人達をもひっぱっていきたくしたいと思ひます。失敗をおそれては何も出来ないで、自分から行動

することを常に考えていきたいと思ひます。

営業部 Cグループ

新宮義之

私の今年の抱負は、第一に営業マンとしての自覚を持つ事です。昨年は、いつまでも新人意識が抜け切れず、何事にも新人だから出来なくて当たり前と思ひていました。そのため、やらなければいけないという意識が欠けており、全く何も出来ませんでした。今年はしつかり自覚を持ち、出来て当たり前という気でしつかり勉強し、昨年の遅れを取り戻し早くそのレベルを越えていけるように頑張りたいです。それからもう一つは、ライブルを作って競争心を昂める事です。今までまだまだ遠い存在だと思ひていた先輩方々をライブルに持ち、早くこの先輩方々に追い付いて、追い越す気持で頑張っていきたいと思ひます。



私の家族論

常務取締役

樋口友夫



予てより私は、家族というのは企業組織の縮図だと思っております。父親が社長、母親が専務、長男・長女が課長弟・妹が一般社員という風にその立場によって形容できます。よく聞く言葉に

「家庭をうまくやれない人は部下育成が出来ない。」

がありますが正に縮図であることを言っていると思います。我家においては、社長の私、専務の妻、課長の長女そして

その部下の次女の四人の組織です。家族の将来展望・設備計画・資金計画等の私の方針を受けて日常生活を担当する妻が具体化していく訳ですが実は子供の教育に最も重要なキーを握るのが、私と妻との意志の疎通がいかにうまく行われているかであります。疎通を欠くと方向が一つにならず、子供達は非常に不安を抱く様になり、学校生活交友関係にも支障をきたすわけです。非行・登校拒否等は大きいに関係していると思います。然し乍ら、その方向選定に妻との間に激論が生ずる時があります。私はあえて子供達にその場面を見せる場合があります。それは価値感の同一化を計る意味で大きな働きをするからです。

特に同一価値観を持つということは家族の必修条件だと思います。最近の親達は自信が無い故か、自由にさせるという意味の誤解で価値観の同一化を情っています。

我が母校

取締役管理部長

宮田 荘一

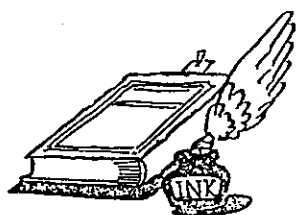


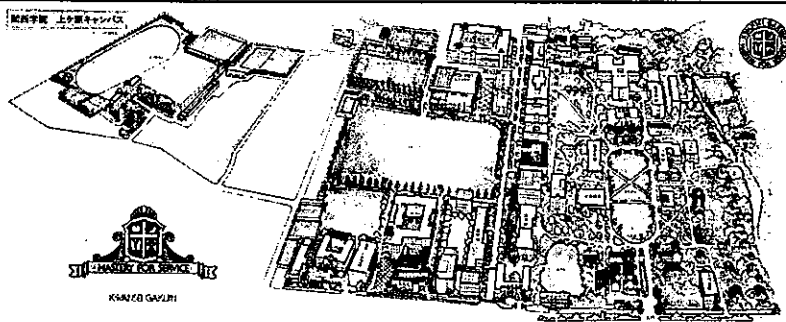
長女は小三ですがその価値観をよく理解してくれており、先生の評価に「相手の気持ちをよく考えた行動が出来る。」と書いてあったのを見て非常に嬉しく、改めて私の責任の重大さを痛感する次第です。

昭和二十四年から十年間通った学校が関西学院である。その中で最初の三年間の中学部が自分にとって母校として心に残っている。阪急今津線の甲東園から森の中の坂道を

抜け高台に出ると両側のアシ林の中央に真直ぐ伸びる道の正面に甲山を背景にした時計台のある図書館が見える。そこは大阪市内の場末の工場跡地にある小さなボロ家から出て来た自分にとって真に天国の楽園の様な風景であった。上ヶ原と言うその台地の中央に広がる敷地の中央に時計台がありその前面に楕円形の大芝生が広がってそれを囲む様にクリーム色の二階建の赤ガワラの校舎が5、6棟ある。その左側に小さい池や日本庭園がありその左側には多目的グラウンドや野球のグラウンドがありボラ並木で仕切られている。更にその左側に中学部と高等部があった。元々米国の宣教師が創立した学校でキリスト教による教育はその建学の精神が「奉仕の為の熟達」であり「敬神愛人」であった。特に当時中学部の校長は熱心なクリスチャンで自ら英語の授業を持ちながらチャペルアワーでは聖書の教えを説かれ

全校約五百人の生徒の精神教育にあたられた。又健全な精神は健全な肉体に宿るとの信条から自ら一周約2Kのジョギングコースを毎日走り生徒達を引張った。授業での特徴は何と言っても週五時間の英語の授業である。そのうち二時間は外人による会話であり二年生頃からは放課後その外人教師の家庭に7、8人のグループで訪ね日本語厳禁のミーティングや食事が毎週あった。語学は学問でなくましてや受験の為の勉強ではなく生活の一部となっていた。そんな明るく自由な環境での教育の場であった。





我が母校と

私の趣味

取締役貿易部長

宮田康之助

母校関西学院大学を卒業後、
新年を迎えちようど三十年、
あつという間に過ぎ去つてしまつた。母校関学はキリスト教主義教育を建学の精神とし、スクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」(奉仕の精神)を教育理念とする学校で、場所は六甲山麓東端の甲山の麓に位置し、キャンパスはアメリカの大学を思わせる緑の木々に囲まれた学院です。

私の学院時代の思い出の第一は、アイスホッケー部に入学したこと。三十年過ぎた今も母校の同窓会や後輩の面倒を見ることが、母校愛を持ち続けることが出来るのは、四年間の関学でアイスホッケーと拘ったことが大きく影響しています。また私の趣味もアイスホッケーで、今だに友

達や後輩の所属するクラブチームで時々プレーを楽しんでいます。そのお陰でゴルフですが、ホッケースタイルになつてしまいました。アハハ。

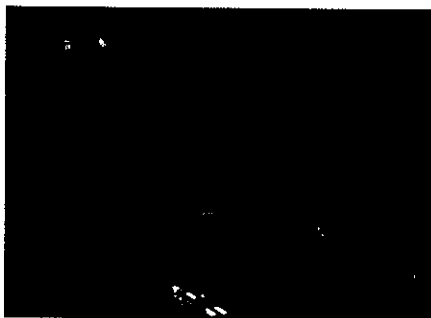
四年間の学生生活で、一番印象に残つた年は、四年生の時です。この年は主将にも選ばれ、それまで先輩の残して来た輝かしい戦績伝統を受け継いで、優勝という責任を果さなければならぬ年であつた。事実関西のタイトルを総ナメにする自信はあつた。しかし先に行われたリーグ戦では、私を含め三人が怪我をし、最下位に終り主将としての責任感で夜も寝られない日が続いた。そして、年が明けて行われた選手権では私の怪我も直り、二年振りの優勝が出来主将としての責任を果せ、まるで地獄と天国を味わつた年であつた。以後社会に出てから幾多の難関に出会つた時は、いつもこの関学時代の経験を思い出しながら難関を乗り越えてきました。その結果、仕

事や家庭に於いても「攻撃は最大の防御なり」を実践している次第です。

私のふるさと

業務部 次長

岩崎哲夫



京都府 舞鶴市

京都府の北部、日本海に面し、若狭湾国定公園の中に位置し、奥深いリアス式海岸は天然の良港となし、山の幸、海の幸の豊富な素朴な町です。その美しさは市の中心部にそびえる五郎岳公園山頂から眺めればその入江が鶴が羽を広

げた姿をなし、鶴が舞う姿そのものである。右翼が東舞鶴左翼が西舞鶴であり、その中心の胴の部分が、我故郷、中舞鶴です。

国宝金剛院の三重塔は威厳を表し、その地の紅葉は天下一品であり、福井県境の青葉山は、市民の誇り高き雄姿を表わしている。古くは田辺城の城下町として栄え、豊町、竹屋町等その地名は今も名残りをとどめ、魚屋町は、今や京阪神の台所となし、又商港としてはロシア木材の集積基地でもあり、還日本海諸国としての日本の代表港として飛躍を成しとげようとしている。鶴の中心部、中舞鶴は、旧日本海軍の重要基地であつたが今や平和都市転換後は日立造船舞鶴工場とし日本経済の一躍を荷負っている。

「弁当忘れても傘忘れるな」と言い伝えられる土地柄、義理と人情の温かさあふれる。我が故郷は、時代が変れども心やすまる街である。

平成四年「天彦賞」

各賞決定！

天彦賞

現業部 主任

中居光世

天彦賞を頂きまして本当に有難うございました。

前年に続き二年連続の受賞ということで改めて賞の重みを実感しております。

受賞のポイントには、オートシャーリングの操作マニュアルの作成に代表されるように、現業実務に密着した活動を評価されたものと思います。

さて本年も晴れやかで最高の形でスタートすることが出来ました。この賞に恥じないよう、実務に精励してゆきたいと思っております。



成長賞

営業部 Bグループ

梅北広明

成長賞いただきありがとうございます。大変光栄でうれしく思います。受賞理由は営業面での目標数字達成度合が良かった事と、自分の意見を言える様になった事、それに周囲の皆様の御力揃えがあった事だと思っております。

今年は、この賞をバネに行動力No.1の営業マンを目指してガンバリます。

成長賞

現業部

木田隆夫

成長賞、有難うございます。天彦産業に入社して四年になりますが、入社して一番うれしい年となりました。

この賞を受賞できたのも、上司・先輩方が私を温く見守り、指導してくださった事が今回の受賞につながったと思います。私のモットーは「納

新人賞

営業部 Aグループ

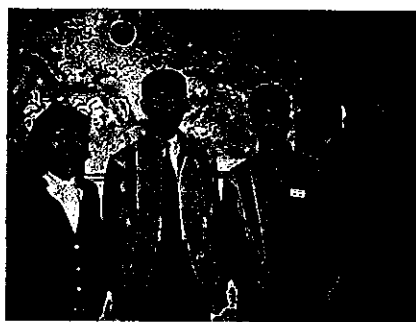
橋出三智子

期管理」会社の方針ともマッチして、充分とは言えませんが、自分自身満足感がありました。応援して下さった皆様に、少しはお返しできたいと思います。今年も満足できる一年にしたいと思っております。何をすべきか少しは理解できましたので、今年一年又新たに頑張ります。有難うございました。

新人賞どうもありがとうございます。四月に入社して九カ月間がたち、Aグループのアシスタントとして仕事を覚える為、初めはただ無我夢中でしたが、少しずつ自分のものにしていった事がこの賞につながったと思います。

これから二年目に向けて、またいろいろなつらい事、苦しい事があるとは思いますが、この喜びをバネとしてこれか

らも頑張っていきたいと思っておりますので、まわりの皆様ご支援のほどよろしくお願い致します。



女性初の主任誕生

業務部 主任

大内友紀子



天彦創業以来、初の女子社員に於いて「主任」という立

場をいただいて、うれしいの次には、その言葉の重みを感じています。社長からは、気にせず今までと同様にとお言葉を頂きましたがそれは、緊張感とプレッシャーをやわらげ、カチコチにならずにやりなさいという意味と受けとめました。

現在、女子社員八名ですが今年四月には十名を超えます。部署もいろいろ、個性もそれぞれ、皆がわかり合ってまとまるというのは、とても難しいことです。が、会社からはそれを一番期待されていると思いますので、そのご期待にそえるよう、十一月より月、二回お昼の時間を使って女子社員で座談会なるものを始めました。今まで、会社・仕事・上司・同僚のことなどが皆がどう考え、どう感じているかを話す場というのがなかったのです、そのような点を重視して皆で理解し合っていく、会社の良い雰囲気創りを目指したいと思っております。

新潟だより

業務部 係長(出向)

武田恒夫

平成四年五月二十五日より
 嵯野水鋼鐵店へ着任し、半年が過ぎ、あわただしい毎日を送っています。

仕事面に関しては、社内の雰囲気、流れ等が違ふ為、戸惑う面が非常に多く、なかなか自分のペースを作るのに時間がかかった様に思います。まず私という人間がどういう人間なのか、考え方などを社内の人達に理解してもらう様に行動してきました。次にメーカー・商社・お得意先へも自分自身をアピールしていきましたが、なかなか思う様に進んでおらず今後の課題として取組み中です。

国内の景気動向としては、東京、大阪地区より約半年遅れの平成四年三月〜四月頃より不景気の波が押し寄せて来た様に思います。今現在、未

だ底が見えてきていないのが現状です。そこで私がしなければならぬ事は、不況の中での売上の伸び悩み、新潟地区での特殊鋼の伸び悩みなど諸問題がある中、最初に手掛けた事は、在庫の圧縮改善です。現在の回転状況を商品別に握み、不良在庫・過剰在庫を明確にし、メーカー・商社へ展開してきました。〇・六ヶ月の圧縮が各社の御協力のおかげで達成出来ました。「在庫は悪」、在庫罪庫を数字で訴え続けたことが達成出来た要因と思います。又今後の課題としては新しい需要を三条・燕地区など県内にとどまらず外へ出て開拓すること

が私に与えられた仕事と認識します。その為にも社内の中で数値で交渉出来、数値で対策を打てる体質に作っていかねければならないと痛感しています。

私生活の面では、十年ぶりの三条市での生活。最初はずぐに慣れると思っていました

が、なかなか思う様には行きませんでした。まず言葉の問題、すぐに新潟弁が戻ると思っていました。家に帰れば妻は神戸出身ですので関西弁で会話することも影響している様に思います。今後は両刃使い出来る様、新潟弁の特訓をしたいと思っています。妻も言葉が通じないことが時々ある様で、困っている時の通訳が私のもう一つの仕事です。人情味あふれる町で楽しく毎日を送っています。久しぶりの新潟の冬の生活、昨年同様今のところ暖冬で過しやすい毎日です。娘も初めて見た雪に、大喜びで長靴をはいて飛び廻っていた様です。今度スキーにも連れていこうと思っています。

今年には二人目の子供も四月に誕生しますので、今まで以上に「お父さん、がんばって」でいきたいと思います。ぜひ越後へ、おいしいお酒を飲み、甘えび・カニ・魚など新鮮な魚貝類を食べにいらして下さい。

鮮な魚貝類を食べにいらして下さい。



ほのぼの家族

ここにお届けする記事は、昨年、朝日新聞大津版に載った会長夫人のお孫さんとのお話です。

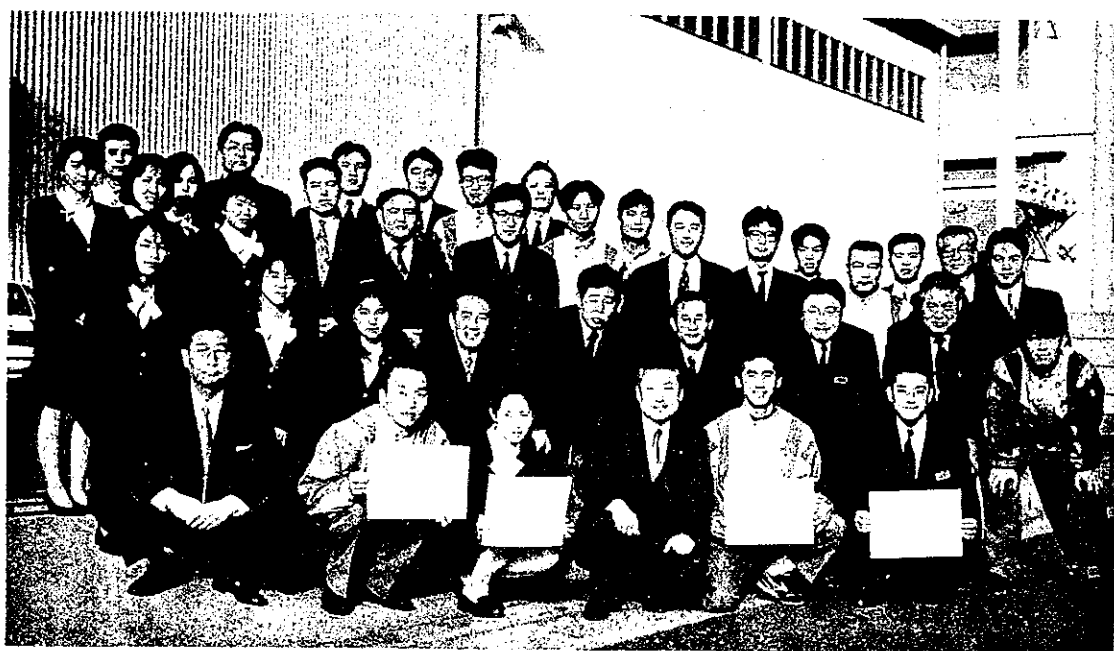
孫の一言感動

樋口 輝子(80)

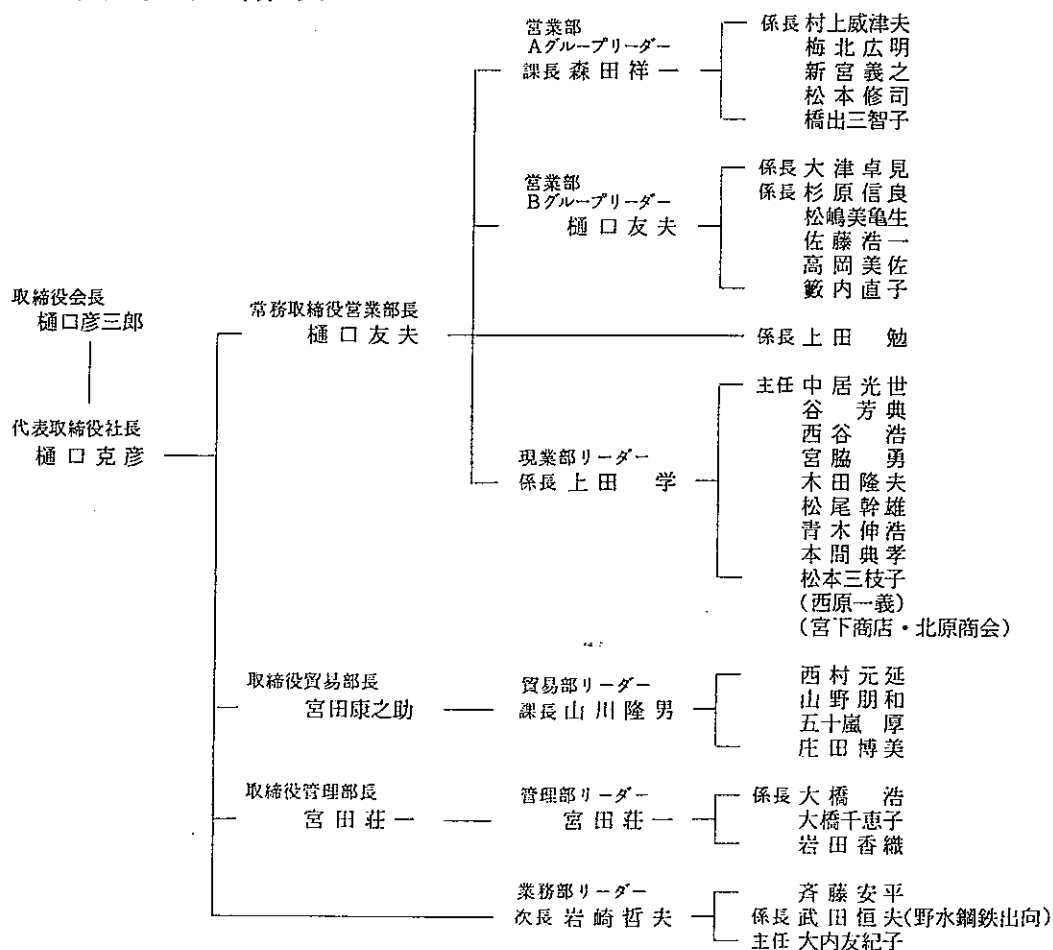
先日のテレビで「歌に恋して八十五年」と淡谷のり子の人生模様が放映され感動した。幾多の苦難をのり越え、歌一筋に生きて八十五とは見えぬ若さで、今なお現役で活躍している姿を見て、「立派だ」とほめたら、高三の孫がさかさ「おばあちゃんもえらいよ。八十になつて細してゲートボールもするし、大正琴も弾く、詩吟も習ってるし、立派だよ」といってくれ、涙がこぼれるほどうれしかった。

野菜こそ作っているが、趣味は下手の横好きなのに。おだんは孫に小言を言うし、俳優の名を何べんも問いつ返すので、うるさいはあさん、呆(ぼ)けはあさんと思われていると思いきや、よい面も見てあのように評価していてくれるのかと、孫の言葉に感動した。

(水口町)



人事組織表



平成 四年 納会 アラカルト

☆天彦何でもランキング

恒例となった天彦何でもランキングは、今回の納会でも全員の投票により、十一項目の各賞に、次の方々が選ばれました。

各賞の意味合いは、皆さんの想像にお任せします。

・思いやり賞 松本三枝子
・頼り妻があるで賞

・わがまま賞 大内友紀子
・がんと賞 宮田康之助

・背のび賞 佐藤浩一
・芽を出せ賞 谷 芳典

・ユニーク賞 新宮義之
・蛍光灯賞 宮脇 勇

・アンバランス賞 大津卓見
・態度がでかいで賞

・特別賞 西村元延
大橋千恵子

・特別賞 大橋千恵子



☆平成四年天彦十大ニュース

一、リストラ120キール

ド「価値の創造と自己革新」を掲げ二年目展開

二、平成四年度十一年ぶり、減収減益見込み

三、女性役職者(大内主任)出向社員(武田係長、野水鋼鉄店へ)それぞれ第一号誕生

四、三年ぶり、海外研修旅行(香港・深圳、得意先訪問)

五、オリジナルデザイン、社色(スカイブルー)ユニフォーム制定

六、新規開拓「チャンネルスタート」

七、業界紙・一般紙・雑誌に続き、単行本(新活力経営の秘密)にて当社プロフィール掲載

八、研究会、委員会デー(二十五日)、女子社員ランチタイムミーティング

九、(月二回)新設現業部、玉掛・クレイン講習に全員参加

十、コンピュータ新システム本格稼働(IBM)

次点
・OSP文化祭多数出点
入賞者五名
・ゴルフ「スカイブルー会」第二十回記念大会盛大に開催、我社より十五名参加(総勢三十名)
忘年会、部門別隠し芸大会定着化

大内主任 結婚!



六月七日、日曜日、梅田玉姫殿にて大内友紀子さんがめでたくゴールインされました。旦那様は元天彦で活躍されていた方です。姉さん女房というのですが二人は大の仲良し。明るくいつも笑顔の絶えない家庭作りががんばって下さい。そして早くカワイイ赤ちゃんを期待しています。末長くお幸せに♡

大津係長 "次男" 誕生!



平成四年七月十三日、大津家に新しい家族が誕生しました。「康平」くんという少しビッグサイズの元気な男の子

です。お父さんにソックリの男前?という事で今後の成長が楽しみです。将来は競馬の名騎手に育て、夫婦そろってお世話になろうと計画しているそうです。名前の由来通りに、健康で穏やかにすくすく育って下さいね。

編集後記

今年初めての社内報を、無事発行することが出来ました。今年も豊富な話題で多くの方々に喜んで頂ける様、頑張っていきたいと思えます。

T Hグループ一同

